

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年5月14日
【四半期会計期間】	第101期第1四半期（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門副部門長 澤崎 祥也
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門副部門長 澤崎 祥也
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第100期 第1四半期 連結累計期間	第101期 第1四半期 連結累計期間	第100期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成26年1月1日 至平成26年3月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日
売上高 (千円)	13,775,917	9,554,713	33,584,611
経常利益 (千円)	1,405,404	877,248	3,280,125
四半期(当期)純利益 (千円)	934,041	591,327	2,678,117
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,292,981	193,041	5,274,183
純資産額 (千円)	16,100,121	18,903,131	18,984,899
総資産額 (千円)	39,769,512	40,195,580	40,774,643
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	53.08	33.61	152.20
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	35.0	40.8	40.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第100期より、連結決算日を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、第100期第1四半期連結累計期間については、当社及び3月決算であった連結対象会社は平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間、12月決算の連結対象会社は平成25年1月1日から平成25年6月30日までの6ヶ月間を連結する変則的な決算となっております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成26年12月期第1四半期連結累計期間	9,554	916	877	591
(参考)前年同一期間 1	8,059	312	373	160
調整後増減率 1	18.5%	193.5%	135.0%	268.8%
平成25年12月期第1四半期連結累計期間 2	13,775	1,268	1,405	934

1(参考)「前年同一期間」の金額は、当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)に対応する前年の同一期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)であり、「調整後増減率」はこれに対する当第1四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、この「前年同一期間」との比較で記載しております。

2 平成25年12月期第1四半期連結累計期間は、当社及び3月決算であった連結子会社は平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間を、12月決算の連結子会社等は平成25年1月1日から平成25年6月30日までの6ヶ月間を連結対象期間としておりました。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした政策効果を背景に景況感が改善し、個人消費においても持ち直しの動きが見られたものの、消費税増税による消費低迷や新興国経済の成長鈍化の影響が懸念される等、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は95億5千4百万円(前年同一期間比18.5%増)、営業利益は9億1千6百万円(同193.5%増)、経常利益は8億7千7百万円(同135.0%増)、四半期純利益は5億9千1百万円(同268.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第1四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)
	(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成26年12月期 第1四半期 (百万円)		(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成26年12月期 第1四半期 (百万円)	
化学品	6,425	7,519	17.0	318	733	130.2
化粧品	1,634	2,034	24.5	297	516	73.6
合計	8,059	9,554	18.5	616	1,249	102.9

化学品事業

売上高は75億1千9百万円(同17.0%増)、セグメント利益は7億3千3百万円(同130.2%増)となりました。

海外では、韓国におけるフッ素化学品の販売拡大や中国における大型案件の採用など、東南アジア地区において繊維加工用薬剤が好調に推移し売上高は大きく伸張しました。国内では、機能加工向けの繊維加工用薬剤や業務用洗剤が好調に推移し、売上高は増加しました。

化粧品事業

売上高は20億3千4百万円(同24.5%増)、セグメント利益は5億1千6百万円(同73.6%増)となりました。

美容サロン業界においては2月の大雪や3月の増税前駆け込み需要等により、業界全体の短期業績が激しく振れる中、デミコスメティクス「ヘアシーズンズ アロマシロップス」、イーラル株式会社「イーラル オム プライム」など新商品の好調に加え、山田製薬株式会社「アンサージュ」、DEMI KOREA CO., LTD.等の海外展開等多角化事業も高成長し、売上高は増加しました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5億1百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年1月1 日～平成26年3月31 日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 115,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,485,000	17,485	-
単元未満株式	普通株式 110,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,485	-

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	115,000	-	115,000	0.65
計	-	115,000	-	115,000	0.65

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は、116,632株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,248,130	5,908,140
受取手形及び売掛金	4,926,029	8,195,702
商品及び製品	2,469,456	2,399,654
仕掛品	700,415	695,051
原材料及び貯蔵品	2,600,543	2,913,799
その他	942,971	1,088,414
貸倒引当金	58,855	53,588
流動資産合計	21,165,692	21,147,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,072,167	6,767,029
機械装置及び運搬具(純額)	2,735,527	2,510,168
土地	5,814,010	5,744,227
その他(純額)	675,673	836,715
有形固定資産合計	16,297,378	15,858,140
無形固定資産		
のれん	307,811	286,893
その他	587,808	660,845
無形固定資産合計	895,619	947,739
投資その他の資産	1,241,952	1,242,524
固定資産合計	19,608,950	19,048,405
資産合計	40,774,643	40,195,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,407,895	4,030,074
短期借入金	7,016,482	7,304,861
未払法人税等	392,196	519,472
賞与引当金	243,500	250,500
その他	2,458,195	2,208,561
流動負債合計	14,190,270	14,313,469
固定負債		
長期借入金	4,112,443	3,466,586
退職給付に係る負債	2,559,630	2,584,020
その他	927,399	928,371
固定負債合計	7,599,473	6,978,978
負債合計	21,789,743	21,292,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	10,173,714	10,589,099
自己株式	49,677	50,507
株主資本合計	16,062,832	16,477,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,675	200,999
為替換算調整勘定	267,779	104,215
退職給付に係る調整累計額	185,235	175,695
その他の包括利益累計額合計	289,219	78,911
少数株主持分	2,632,847	2,504,656
純資産合計	18,984,899	18,903,131
負債純資産合計	40,774,643	40,195,580

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	13,775,917	9,554,713
売上原価	9,315,964	5,998,402
売上総利益	4,459,953	3,556,311
販売費及び一般管理費	3,191,785	2,639,672
営業利益	1,268,167	916,639
営業外収益		
受取利息	4,379	13,841
受取配当金	17,392	12,747
持分法による投資利益	47,645	18,910
為替差益	92,910	-
その他	72,759	50,916
営業外収益合計	235,086	96,416
営業外費用		
支払利息	55,750	26,541
為替差損	-	41,941
売上割引	21,817	21,288
その他	20,282	46,036
営業外費用合計	97,850	135,807
経常利益	1,405,404	877,248
特別利益		
固定資産売却益	4,768	162,849
特別利益合計	4,768	162,849
特別損失		
固定資産除却損	234	697
固定資産売却損	459	-
投資有価証券評価損	886	-
ゴルフ会員権評価損	-	510
減損損失	63,598	-
特別損失合計	65,178	1,207
税金等調整前四半期純利益	1,344,994	1,038,890
法人税等	329,582	389,824
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015,412	649,065
少数株主利益	81,370	57,738
四半期純利益	934,041	591,327

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015,412	649,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,039	5,676
為替換算調整勘定	1,271,529	459,887
退職給付に係る調整額	-	9,539
その他の包括利益合計	1,277,568	456,024
四半期包括利益	2,292,981	193,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,950,038	223,195
少数株主に係る四半期包括利益	342,942	30,154

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
投資その他の資産	5,048千円	4,850千円

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)	
	外貨額(千)	円換算額	外貨額(千)	円換算額
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$3,000	10,553千円	NT\$3,000	10,139千円

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
受取手形割引高	6,284千円	4,793千円
受取手形裏書譲渡高	20,120	21,581

4 期末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
受取手形	217,523千円	-千円
支払手形	87,941	-

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

場所	用途	種類
台湾台北県板橋市	操業停止予定の工場等	建物及び構築物

当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。

前第1四半期連結累計期間において、操業を停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等については、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額63,598千円を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産の回収可能価額は他への転用及び売却の可能性がないことから、その価値を零としております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却額を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
減価償却費	624,359千円	420,371千円
のれんの償却額	19,652	20,071

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	175,978	10	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	175,942	10	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,634,099	2,141,818	13,775,917	13,775,917
セグメント間の内部売上高又は振替高	48	599	648	648
計	11,634,148	2,142,417	13,776,566	13,776,566
セグメント利益	995,864	584,158	1,580,022	1,580,022

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,580,022
セグメント間取引消去	3,948
全社費用(注)	315,803
四半期連結損益計算書の営業利益	1,268,167

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価格まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、63,598千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,519,927	2,034,786	9,554,713	9,554,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	3,072	3,552	3,552
計	7,520,408	2,037,858	9,558,266	9,558,266
セグメント利益	733,356	516,400	1,249,757	1,249,757

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,249,757
セグメント間取引消去	2,448
全社費用（注）	335,566
四半期連結損益計算書の営業利益	916,639

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	53円8銭	33円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	934,041	591,327
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	934,041	591,327
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,597	17,593

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月13日

日華化学株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。